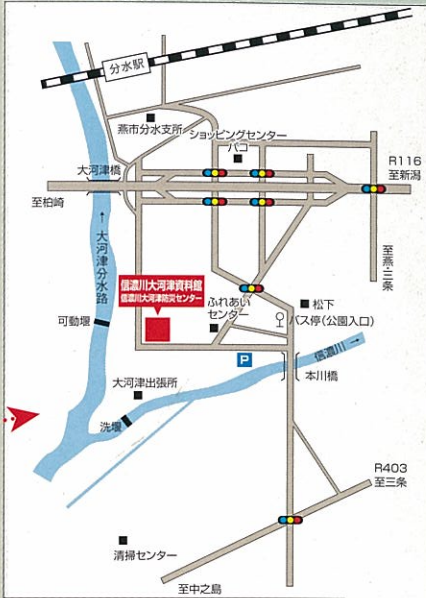




案内図



資料館へのアクセス

- 電車  
JR越後線「分水駅」から……車で約 5分  
新幹線「燕三条駅」から……車で約20分
- バス  
越後交通「公園入口」バス停下車…徒歩 10分
- 自動車  
国道116号「五千石交差点」から…車で約 5分  
北陸自動車道「中之島見附IC」から…車で約20分  
北陸自動車道「三条燕IC」から……車で約20分

信濃川大河津資料館のホームページ

URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/>



信濃川大河津防災センターのホームページ

URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/bousaictop>



詳しい説明をご希望の方、ご意見、その他お気づきの点はお気軽に下記までご連絡ください。

信濃川大河津資料館 信濃川大河津防災センター  
〒959-0124 新潟県燕市五千石  
TEL (0256) 97-2195 FAX (0256) 97-2196  
URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/>  
E-mail : [ohkouzu@hokurikutei.or.jp](mailto:ohkouzu@hokurikutei.or.jp)

発行 国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所  
〒940-0098 新潟県長岡市信濃1丁目5番30号  
TEL (0258) 32-3020 FAX (0258) 34-9044  
URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>  
E-mail : [shinano@hrr.mlit.go.jp](mailto:shinano@hrr.mlit.go.jp)



2009.12

信濃川大河津防災センター

信濃川大河津資料館



国土交通省 北陸地方整備局  
信濃川河川事務所

# 大河津分水の歴史と役割に “出会い”“学ぶ”“極める”“ふれる”

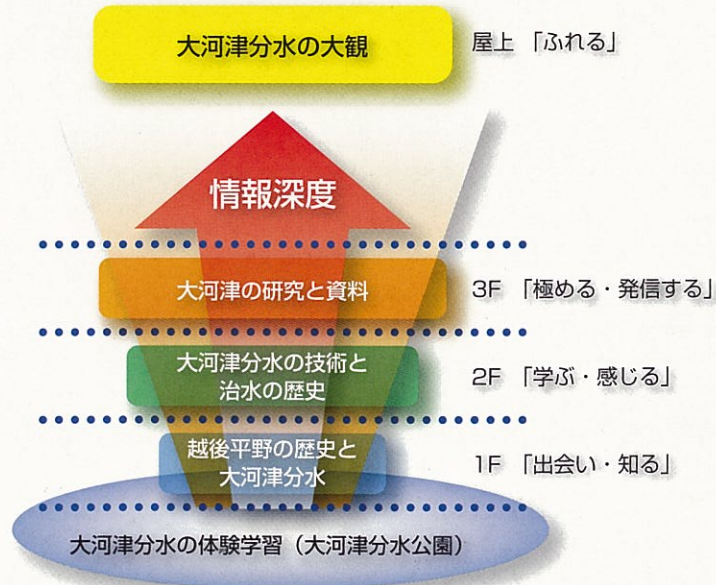
「大河津分水」は、人々の手によってつくられました。  
母なる川「信濃川」は広大な越後平野を産み出し、豊かな実りをもたらしました。  
その反面、洪水により多くの尊い人命、家屋、田畑を流し去ったのです。  
人々の命と暮らしを守るため、多くの人々が江戸時代からくり返し請願し続けたものが「大河津分水」だったのです。  
「大河津分水」は大勢の人々の願いと努力によってつくられ、ようやく完成し、  
今も洪水から越後平野を守り続けています。  
信濃川大河津資料館は、「大河津分水」の歴史と役割に  
“出会い”、“学ぶ”、“極める”、“ふれる”ための施設です。  
時間の許す限り、どうぞ、ごゆっくりご覧ください。



新しくなった大河津資料館の4階には展望室が設けられ、大河津分水周辺の美しい景色を眺めることができます。

信濃川大河津資料館は、明治9年(1876)に開始された信濃川河身改修工事から100年を記念し、昭和53年(1978)10月28日に開館しました。より多くの人々に「大河津分水」を紹介し、親しんでいただける資料館をめざし、独特な外観の旧庁舎の建物をそのままに、エレベーターも設置して、誰にでも優しい施設として平成14年(2002)4月18日リニューアルオープンしました。

## 展示構成



新しくなった大河津資料館は1階から4階までを順にご覧いただくことで大河津分水の歴史と役割に“出会い”“学ぶ”“極める”“ふれる”ことができるような展示構成になっています。

## 資料館利用案内

- 開館時間／9:00～16:00
- 休館日／毎週月曜日  
(月曜日が休日にあたる場合は、翌日以降の休日ではない最初の日)  
年末年始(12月29日から1月3日)
- 入館料／無料
- 団体でのご利用の場合や、館内での説明を希望される場合は、事前にご連絡下さい。

## 洗堰魚道観察室利用案内

- 観察時間／9:00～16:00
- 観察日／4月1日～11月30日(洪水等により閉鎖する場合があります。)  
冬期間(12月1日～3月31日)のご利用は資料館へお問い合わせ下さい。
- 観察料／無料

## 信濃川河川事務所大河津出張所利用案内

- 3F操作室の見学、また、1Fホール、屋上は休日でもご自由にご利用いただけます。
- 1Fホールは公共的な催しにもご利用いただけます。  
大河津出張所にお問い合わせ下さい。



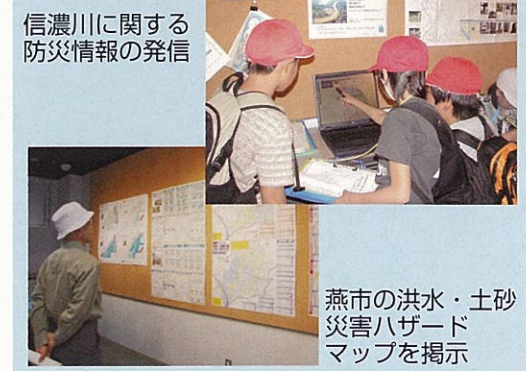
屋上	大河津分水全景の展望が可能
3F	堰の操作室
2F	出張所事務室
1F	休憩できるホール

〒959-0123 新潟県燕市大川津  
TEL (0256) 97-2121 FAX (0256) 97-2202

## 信濃川大河津防災センターとしての役割

信濃川大河津資料館は、信濃川大河津防災センターとしての役割もあり、災害時における地域住民の一時的な避難場所や燕市の緊急防災対策本部として使用することができます。平常時には、信濃川に関する防災情報を発信しています。

### 〈平常時〉



### 〈災害時〉



# 1F

信濃川と越後平野のなりたちや、人々のくらしと風土を通して大河津分水の歴史と役割に出会い、知るコーナーです。

### 3 横田切れ

工事のきっかけとなった明治の大洪水「横田切れ」と工事を請願した先人たちを紹介します。



「横田切れ」の様子を電動紙芝居で再現します。

### 4 シミュレーションコーナー

大河津分水がなかったら私たちの街はどうなるのか？「もし大洪水が起きたら」を疑似体験することができます。



### 5 大河津分水がもたらした豊かな越後平野

大河津分水によってもたらされた恵みとは？越後平野はどのように変わったのか？をパネルで紹介합니다。

### 1 テーマミニシアター

展示への入口として大河津分水のあらましを80インチスクリーンで紹介합니다。(40名収容)



### 6 資料館周辺情報

資料館周辺の現在の様子をリアルタイムでご覧いただけます。



### 2 信濃川の恵みと災い

越後平野のなりたち、洪水とのたたかひの中で培われた生活の知恵、そこに住む人々のくらしを紹介します。



出  
会  
い  
・  
知  
る

# 2F

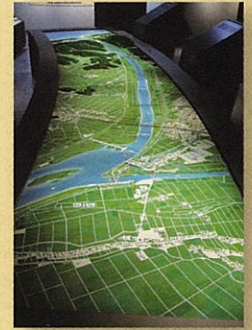
大河津分水の歴史や技術について更に深く学び、思いを巡らせ大河津分水について各自で何かを感じとっていただく空間です。

学  
ぶ  
・  
感  
じ  
る

### 11 大河津分水のしくみ

大河津分水がどのようにして越後平野を守っているのか、そのしくみを紹介します。

堰操作のしくみを知ろう  
大河津分水の堰のコントロールをCGと模型によるクイズ形式で紹介합니다。



大河津分水模型  
大河津分水のしくみを1/2000の模型とCGで紹介합니다。



洗堰ゲート模型  
洗堰に日本で初採用された「自走式油圧シリンダー」の複雑なしくみを模型で紹介합니다。

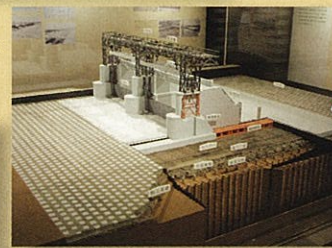
### 10 大河津分水に尽力した技術者

どんな技術者が建設に尽力したのか紹介します。

### 9 大河津分水を支えた技術

建設にはどんな技術が必要であったのかを紹介します。

トロッコ  
平成12年、洗堰改築工事の際に出土したトロッコです。実際に分水工事で使われていました。



可動堰模型  
宮本武之輔が自らつくった可動堰の模型です。

### 8 大河津分水計画の変遷

4枚の分水路計画平面図を比較することによって、分水計画の変遷をご覧いただけます。



### 7 大河津分水のあゆみ

明治初めの分水工から今日までのあゆみを大年表パネルで紹介합니다。



### 12 企画展示コーナー

大河津分水などに関するいろいろな企画展を今後とどしどし開催してきます。

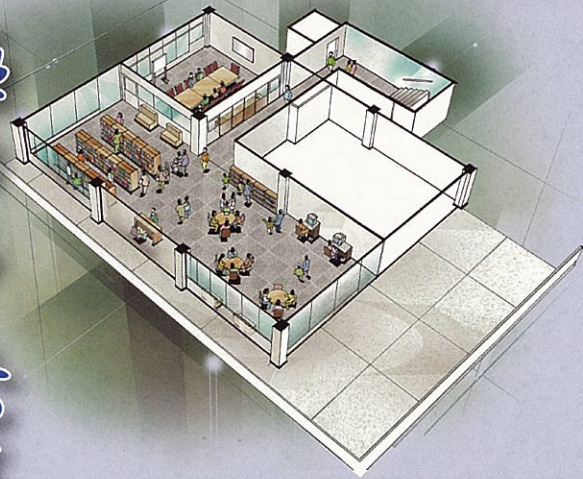
### 13 多目的ホール

100インチスクリーンと映像設備を備え、講演会やワークショップなど多用途に利用できる施設です。(80名収容)

## 情報ライブラリー

信濃川や大河津分水に関する書籍などを閲覧できます。

極める・発信する



# 大河津分水公園

「大河津分水公園」は大正13年（1924）、大河津分水路の通水を記念し、大河津記念公園として設立されました。約80年後の平成14年（2002）、洗堰の改築にともない、「信濃川大河津資料館」と一体となり信濃川と大河津分水を学ぶ“総合学習”の場として、また、春には桜、夏は夕涼み、秋は鮭の溯上、冬には白鳥の飛来する光景が見られる新たな“憩いの場”として整備されました。

## 7 大河津出張所

大河津分水を操作している様子を見学できます。屋上からの展望もお楽しみください。



## 8 洗堰

平成12年（2000）5月29日に通水した洗堰です。ゲート油圧で動きます。



## 9 魚道観察室

信濃川中流域に生息するいろいろな魚を観察することができます。



## 10 ワンド

ワンド（湾処）とは湾状の流れが穏やかなところです。生物の産卵・生育・避難の場となり、様々な生物を観察することができます。



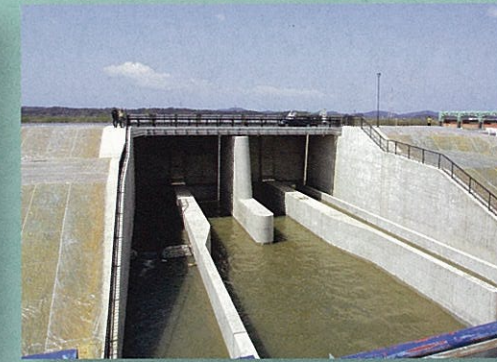
## 6 国登録有形文化財洗堰

約80年間越後平野を守り続けた洗堰です。平成14年（2002）2月14日、国の登録有形文化財になりました。



## 5 西川導水門

西蒲原・新潟方面へ流れる西川の水源です。せせらぎ水路へも導水しています。



## 4 可動堰

当時の最新技術によって昭和6年（1931）に完成しました。



## 3 自在堰跡

昭和2年（1927）6月24日に突如陥没した自在堰の橋台跡が保存されています。

## 2 信濃川補修工事竣工記念碑

昭和6年（1931）建立。青山士が「萬象に天意を覚る者は幸なり」「人類の為め国の為め」と刻みました。



## 1 信濃川治水紀功碑

大正13年（1924）、建立の巨大な碑。書道界の重鎮 比田井天来の書で有名です。



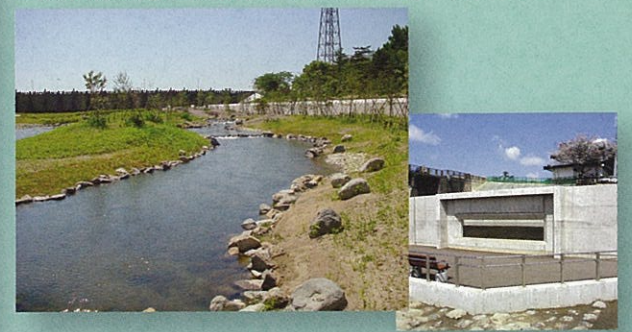
## 12 体験水路

信濃川の水でじゃぶじゃぶ遊べる空間です。



## 13 せせらぎ水路

信濃川の自然を身近に感じてもらうための人工河川。上流の観察窓からは水の中の様子をご覧いただけます。



## 展望室

雄大な信濃川や大河津分水の風景を楽しめる全天候型の展望室です。

ふれる

